



旭川養護学校
学校だより
発行者
校長 佐々木 建

「本校の進路支援について考える」

高等部進路指導主事 水上 仁美

本校の進路支援についてお話しする前に、進路選択をする上で大切なことをまずお話しさせていただきますと思います。

人生のライフステージにおいては、多くの人が学校生活を終えてからの生活が長くなります。

特別支援を必要とする幼児児童生徒の進路を選択していく上では、日中活動の場をどうするか、生活の場をどうするかなどを考える必要があります。高等部を卒業する際は、小学校から数えて十二年間の学校生活から、がらりと生活スタイルも変わります。

十八歳になると障がい児の福祉サービスから大人の福祉サービスに変わるため、放課後、デイも利用ができなくなります。ご本人だけではなく、ご家族の生活スタイルも含めて、どのようなサービス利用の仕方をするべきかを考える必要があります。何より、実際に進路先で生活するのは、ご本人なので、ご本人がよりよい生活を送ることができると思われる進路先を選ぶことが理想的だと思います。ただ、100%希望と合う進路先と言うことは難しいので、条件として考えられるものの優先順位を決めておくことはとても重要です。その上で、一つでも多く条件が合うところを

選んでいきましょう。

本校が進路支援として具体的にやっていることとしては、高等部ではより良い進路選択のために事業所の見学や、学年に応じた日数で生活体験実習などを行っています。

また、進路説明会や懇談等での進路に関連した情報提供も随時行っております。

中学部の進路選択としては、高等部などへの進学が主となるため、進学に向けた情報提供を行い、合わせて将来に向けて福祉サービスについての情報提供も進路説明会や懇談を通して行っています。

幼稚部・小学部段階は、友達や身近な人と一緒に活動する、好きな遊びや活動に取り組むなど、日々の学習や活動を大切にすることが、将来の進路選択に向けて大切なこととなります。自分でできることを少しでも多く身につけていくことなど、将来を見据えてできることを一つ一つ重ねていきましょう。

今後も、進路に関わって知りたいこと、質問などありましたら、担任の先生を通して進路担当にお問い合わせください。



運動会特集

幼・小学部

今年の幼・小学部の競技は「くるるまひつぱれゴ

ー!2024」と題し、紅白に分かれて引っ張り相撲対決を行いました。三色の旗を紅白で引っ張り合い、最後はさいころで出た色の旗を多く持っていたチームの勝ち、というルールで、最後の最後まで勝敗のわからないドキドキする展開となりました。初めはひもを引っ張る力加減がわからず、なかなか切れなかったり、すぐに手を離してしまったりする場面が見られましたが、二週間練習を積み重ねたことで、ひもを握る手や旗の動き、対戦相手をしっかり意識しながら、それぞれの得意な方法でひもを引っ張ることができました。引っ張る姿以外にも、元気な返事や自分の力で前に進んだ移動の場面、また真剣な表情やとびっきりの笑顔など、見所満載の競技となったのではないでしょう。ご覧いただいた皆さん、大きな声援、ありがとうございます！



中学部

「ポッチャでファイト!」

中学部競技は、それぞれの投球方法で的を倒して点数を競う「ポッチャでファイト!」を行いました。手前にある一点の箱を狙うのか、真ん中の三点ゾーンを狙うのか作戦を立てたり、どこから投げするか位置を変えたり、たくさん練習してきました。総練習や練習の時も接戦でしたが、当日はどちらが勝つのか最後までわからない手に汗握る接戦となり、一点差で白組の勝利になりました。みんな、練習の成果を見事に発揮できていたと思います。保護者の皆さま、暖かい声援をありがとうございました!



高等部



今年の高等部の競技は「旭養魚釣りリレー」と題し、自分たちで用意した釣り竿を使って魚を釣り上げました。紅白に分かれてリレー方式で行い、自分たちが釣り上げた魚の重さの合計を競いました。それぞれが自分の釣り竿まで教師と移動し、「押す」、「握る」、「引っ張る」、「釣り上げる」と自分ができる動きで大きな魚を釣り上げました。約一ヶ月間の練習を重ねてルールを覚え、競技にも慣れ

訪問教育部

ていき、楽しみながら練習や本番に臨むことができました。たくさんさんの保護者や来賓、療育センターの皆さん、ご声援ありがとうございました!

今年の訪問部の種目は、「訪問カーリング」〜ねらうぞターゲット!〜でした。

ターゲットや高得点ゾーンをねらって、一斉にフロッカーが転がる瞬間は迫力満点で、一瞬一瞬で変わるフロア状況に会場は大いに盛り上がりしました。選手達はひもを引いて転がるフロッカーの重みや、ぶつかり合う音、滑るように転がる動きに注目しながら、競技を体全体で感じることができました。総練習は紅組が、当日は白組が勝利しましたが、いずれも一人一人が力を合わせ、自宅や療育園で積み上げた練習の成果を精一杯発揮することができました。ご来場の皆様、熱い応援ありがとうございました。



主な行事予定

- 六月**
- 二十六日(水) PTA研修会・茶話会
 - 二十七日(木) 【幼小学部】わくわく広場
 - 二十七日(木) 【二十八日(金) 【訪問高等部】見学旅行
- 七月**
- 四日(木)〜五日(金) 【中学部】見学旅行(札幌方面)
 - 八日(月) A・L・T来校
 - 九日(火) 【小学部一、四年】遠足
 - 十日(水) 全校集会
 - 十七日(水) 【小学部二、三年】遠足
 - 十七日(水) PTA役員会
 - 二十三日(火) 【在校】一学期終業式 参観日(中・高)
 - 二十五日(木) 【訪問】一学期終業式

「北海道子ども相談支援センター」から相談窓口についてのお知らせです

北海道子ども相談支援センターでは、これまで多くの児童生徒や保護者から相談を受付けてきました。大型連休や長期休業明けに不登校となる児童生徒が増える傾向にあることから、児童生徒のより一層の心のケアに努めるため、下記の通り、相談窓口について周知いたします。

子ども相談支援センター	0120-3882-56 毎日24時間対応 (0120-0-78310) sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、ヤングケアラーなど様々な悩みを相談できます。
児童相談所虐待対応ダイヤル	「1189」 毎日24時間対応 (いちばやく)	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを見相に通告・相談できます。
親子のための相談 LINE	 平日9:00~17:00	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。

「旭川市医療的ケア児総合相談室」4月より開設!

医療的ケアが必要なお子さんとそのご家族が望む生活を実現するためのサポート窓口が開設されました。※相談無料
場所〜旭川市障害者福祉センター(おびつた)1階
旭川市宮前1条3丁目3番7号

☎0166-73-7615 (FAX 兼用) e-mail: mcare@hokuryo.or.jp

【開所】
月〜金 9:00〜17:30
【閉室】
土・日・祝日、年末年始